



認定特定非営利活動法人

青少年の自立を支える会 通信



第9回星の家まつり風景

目次

- 1. 全国自立援助ホーム連絡協議会大阪大会に参加して
連載 春夏秋冬「星の家」
事務局報告
美容師“ん太郎”さんが「星の家」のために一肌脱ぐ！他



- * 10回目を記念したコンサート開催のお知らせ。
- * スタッフの給与支払いに“赤信号”が、会費納入のお願い！

1. 全国自立援助ホーム連絡協議会大阪大会に参加して

事務局長 福田 雅章

去る11月22、23日と、大阪市で全国大会が行われました。初めて厚労省の家庭福祉課長本人が出席するなど、参加者の数は100名を超えました。つい3年前は20名不足だったことを思うと隔世の感があります。ちなみに自立援助ホームの数はついに41になりました。

プログラムの最初に、札幌学院大の松本先生から2005年に全国29の自立援助ホームを利用したものを対象にした「自立援助ホーム調査の報告」がありました。自立援助ホームの利用者の状況が統計的に明らかにした初めての研究だと思います。その内容の一部を紹介すると、

利用者の概要は？

- ・ 2005年1月から12月までの1年間のホームの利用者は310名で、うち「在籍者」147名、「退所者」は163名である。
 - ・ 入所時の年齢は14歳から31歳に分布しているが、18歳以下が8割強をしめる。
 - ・ 在籍期間は1年未満で4分の3をしめる。退所者の平均在籍期間は10.7ヶ月である。
- 入所までどのような生活をしてきたか？
- ・ 入所直前の生活場所は社会的施設が4割をしめ、なかでも児童養護施設(22%)が最も多い。家族と生活していたものは4分の1弱で、子どもみでの生活も見られる。
 - ・ 利用者は入所前に多くの困難に直面している。

養育者からの虐待(47%)、学校の長期欠席・不登校(26%)、住所不定(27%)、野外での寝泊り(11%)等である。

- ・ 利用者の親も多くの困難に直面している。離婚(56%)、経済的困窮(32%)、精神的疾患・障害(13.5%)、薬物依存(12%)、DV(11%)等である。
 - ・ 入所時の入所期間の予想は、約半数が「年単位の入所」、約4割が「数ヶ月程度」、1割が「緊急的・一時的な保護」であると考えられていた。
- 退所者はどのような状況でホームを離れたか？

- ・ 「自立できる見通し」が退所の理由であるものは、退所者の4分の1である。また、約4分の1が本人の拒否・行方不明で退所している。
- ・ 退所時の住居は、住み込み(13%)、アパート(23%)、親との同居(17%)が多いが、友人・知人宅など暫定的性格のものや不定などを合わせると4分の1になる。

在籍者と退所者の現在どのような状況にあるか？

- ・ 利用者の約半数が中卒を最終学歴とする。高校中退を含むと4分の3にのぼる。
- ・ 利用者の約4割が、治療・支援を必要とする心身の障害や症状を有する。

などなど

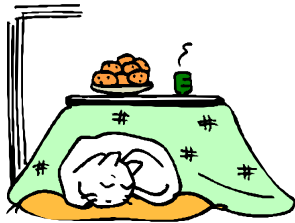
このような状況は星の家も同じで、全国のホームが自立困難な利用者を抱えて苦悩していることがわかりました。

今回の大会で最も大きな収穫は、厚労省の課長さんが自立援助ホームについての認識を新たにしたいことだと思えます。夜の交流会。厚労省の課長さんも最後まで付き合ってくれました。壇上で「六甲おろし」を歌った課長さん。最後のフレーズの「・・・は～んし～んタイガース、フレフレフレ

レ」を「・・・じりつえんじょほーむ、フレフレフレ」と声を高らかに歌ってくれました。うれしいーこまでした。栃木県の役人さんはわかってくれないかな～。

春夏秋冬「星の家」 NO.4

日に日に朝晩の寒さが厳しくなり、星の家にもいよいよコタツ登場。コタツで寝ようものなら“即コタツ没収”と言う訳で、ウトウトしそうな子には「コタツ没収になるから寝ちゃダメっ！」と声が飛んできて、おちおち寝る訳にもいきません^^；



さて、身にしみる程の冷え込みが厳しい朝。入居者3人(最近一人アパートに出ましたが)とスタッフの格闘で星の家の一日は始まり

ます。それぞれの起床時間(7時~9時)で起床、余裕がある子は朝ご飯、自分でお弁当のおかずを詰め、身支度、出発、というごくごく普通の朝の風景ですが、それこそまさに“格闘”なのです。

一人でちゃんと起きてくる子もいれば、起こしても起こしても起きてこない子もいる。出勤時間ギリギリ、しかも急ぐ気配もなく家を出る。「今日は遅くなったし、天気良いから布団も干したいし、遅刻でいいや~」...! ?ここまできると、開いた口がふさがりません(笑)。「そんなんで大丈夫なの?もうすぐアパート出るのに、遅く起きたからって天気が良いからって遅刻?これから一人でやっていけるの?」と言うと「わかったよ!行けば良いんですよ!」と逆ギレされる。まあ、逆ギレされようがとりあえず仕事に行けば一安心。そんなやりとりが毎朝繰り広げられています。「なんだかなあ...」と思えますが、私も彼ら位の頃、この時期は特に布団から出たくないし、朝は眠いしイライラするし、色々言われるとあえてゆっくり用意したり、ムスツとしてご飯食べたり...結局星の家の子も達と何も変わらなくて、どこにでもある朝の風景なのかなと思ったりもします。

子ども達が朝食を食べている時は洗い物や片づ

けの手を休め、私も一緒にテーブルに座ってお茶を飲みます。短い子でほんの数分、仕事の話や新聞の“今日の運勢”を見ながらのたわいもないおしゃべり。何気ない時間だけれど、この時間が私は好きです。眠そうだった表情が少しずつ冴えてきて、不機嫌だった顔が和らいできて、そんな彼らとの時間は何だかほっとします。こんな何気ない時間のやりとりが、星の家に来る彼らには大切なんじゃないかと思ったりもします。

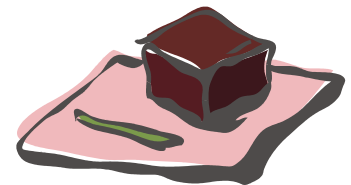
寒い朝、仕事に行く大変さももちろん分かる。でも、ここは「仕事に行くこと、続けること」が大前提。そのことに影響が出るような子ども達の行動には逆ギレされようが、うるさいと言われようが一つ一つ伝えていくことも必要なんだなと思います。

今回は現入居者二人の近況と、5年前に退去した子どもの近況を紹介します。

M(16歳・女)

この秋高校を中退し星の家へ入居、いよいよ和菓子屋での仕事が始まったM。初出勤の日、私も一緒にバスで職場まで。

普段はニコニコ顔で、愛嬌のある彼女。いつもはおしゃべりが尽きない



位だが、緊張のせいか口数も少なく、顔も強ばっている。挨拶もきちんとできるし、一見大丈夫そうにも思えるが、まだ16歳。そりゃ、ドキドキだよなあ。「おばちゃん達にいじめられたらどうしよう...」そりゃ、心配だよなあ。そんな彼女と店の前まで一緒に歩く。こちらにもドキドキが伝わってくる。不安そうな顔をして店に入っていきMを見送った。そして夕方、予定の帰宅時間になっても帰って来ない。「もしやおばさま方に圧倒されて逃げ出した?」もう嫌だ! って夜遊びに走っちゃった?...勝手な想

像を膨らます私。しかし、約2時間後、帰ってきた表情は満面の笑み。今日は早速残業で、しかも予想外に(！?)優しいおば様方だったとのこと。「何かあったら連絡してね」と電話番号も教えてくれたとか。「優しい人達で良かった！おばちゃん達とおしゃべりも楽しい！」と仕事に通う彼女。2回程、彼女の働きぶりを見に店に顔を出したが、ぎこちないながらもちゃんと笑顔で接客できている。「よく頑張ってくれてますよ」と店長。そして1週間の研修最終日、なぜか早々とお昼に帰ってきた。聞くと「『疲れている顔しているから今日はもう帰って良いよ』って言われた」とか…。確かに初めから6日連続、疲れるよなあ、でも、ラスト一日、気力を振り絞ってできなかったかなあ？まだ16歳…仕方ない？頑張った方？これが精一杯？…いよいよ来週から別の店舗での仕事が始まるが「大丈夫かな？」とまだまだ不安も残るが、彼女のこれからも期待したいと思います。

* T (16歳・男) *

定時制に通っている16歳になったばかりのT。飲食関係に勤めていたが、「飲食関係は俺には合わないことが分かった」と、前から興味があった車関係の仕事が見つかり転職。2週間が経ったが、今のところ



ころは順調に通っている。そして、前職場に制服を返しに行った際、店長からこれまで働いた分のお給料を受け取るという話になっていたものの、結局は店長に会わず、あやふやなまま帰

ってきた。「なんか訳分かんないからそのまま帰ってきた。聞けなかったんだもん。オレだめなんだよ、こういうの」と言う。前にも同じようなことがあったので、「前と同じじゃない？何でちゃんと聞いてこなかったの？」と最初は彼を問い詰めようとした私。でもまだ16歳、大人相手に、やりとりするなんて、最初はハードル高いのも確かだよなあ。結局電話で店長と話し、一件落着。「電話は得意！」というだけあって、受け答えもしっかりしている。「そうやって、分からない時はちゃんと直接聞いて良いんだよ。そうしないと二度手間になっちゃうよ。今度は電話みたいにできるといいよね。」「う～ん…」と自信のない返事が返ってきたが、一つ一つ、こうして実際の場面に直面した時に、周りの大人が伝えてあげることが必要なんだろうと思います。

* E (元入居者・23歳・女) *

5年前に星の家で出会った時は17歳だった元入居者の彼女も今や23歳。先日、アパートを引っ越すことになり、一緒に部屋の掃除をしてきた。台所、トイレ、お風呂…約2年間の汚れ、壁に染み付いた煙草のヤニ…。袖をまくり、ズボンの裾をクルクルと上げ、ゴシゴシと黙々と掃除をする彼女。トイレも素手を便器に突っ込んで掃除している。自分が住んでいたアパートだから当然ではあるけれど、もちろん当たり前のことをしているのだけど、「結局私がやるんだろうなあ」とある意味覚悟していた私は拍子抜け。掃除をしながらしみじみと「こうして掃除してちゃんと出て行くのは初めてだよ」と彼女。いつも逃げるように居場所を転々としてきたEにとって、自分が過ごした部屋を掃除することはこれまでなかったのだ。

過酷な家庭環境に育ち、色んなものを背負っていて、10代の頃は数々の問題を引き起こしてきたE。しかし、最近の彼女を見て、これまでを知る人は「ずいぶん変わったよね」「表情が穏やかになった」「人間らしくなった」と言う。5年前を知る私も、今の穏やかな表情や、出てくる言葉に「あれ？こんな感じだったっけ？」と良い意味での“違和感”を感じる場面もある。この前は「彼にオムライスと肉じゃがとロールキャベツを作ってあげたいから今度料理教室開いてよ」という電話もしてきた。今の彼女との関係も、彼女の大きな支えにもなっていて、安定した日々を送ることができている。



「この数年のホーム長との関係で築き上げてきたものがしっかり今のEにつながってる」と美帆さん。「彼女自身にちゃんと“力”があったんだよ」とホーム長。まだまだ先行きは不安だけれど、この穏やかな日常が続くことを願いたい。

職場の方にも恵まれ、温かく支えられているM。自分の興味のある分野で働くことができているT。中学卒業間もない彼らも、社会の中で必死に頑張っている。そして今、穏やかな日常を送っている元入居者E。これから彼らが色々な事に直面していく中で、壁にぶち当たることもあるだろうが、私達スタッフは支えとなって彼らを応援していきたいと思う。(Y・O)

事務局報告

ん太郎さんが「星の家」のために一肌脱ぐ！

「24時間チャリティーカット」を開催！

“火事が、俺のやる気に火をつけた”のタイトルで美容師“ん太郎”さんの店「ん」が12月1日オープン。これを記念してのイベント「24時間チャリティーカット」が12月1日17時～2日17時まで開催され、収益金が「星の家」に寄付された。



世界各地の時刻を刻む時計が外壁に填め込まれた新店舗の外観

知る人ぞ知る世界で活躍する美容師ん太郎さんが経営する江野町の「像る場ん」(かたちるばん)が火災にあったのが去る9月6日のこと、原因はトラック。それから3ヶ月、店舗を池上町1-1(県庁前交差点)に移してゼロからの出発となった。火事の後始末、新店舗などに大変な物入りなのに、「星の家」の子どもたちのためにと一肌脱いだ。

ん太郎さんは元プロボクサーでもある。自宅ガレージを開放した太郎っ子ボクシング塾で青少年を指導、また、相談役を務める“わだちの会”では青少年の健全育成にも取り組んでいる。

先日の「星の家」まつりでも「わだちの会」が“もちつき”の模擬店を出店、8万円近くを寄付していただいているが、ん太郎さん家族もボランティアとして参加。度重なるご支援には感謝に耐えません。ここにお礼申し上げます。

皆様も、機会がありましたら是非とも美容院「ん」に足を運んでください。

「星の家を支援するツーコインチャリティー」が開催される！

一人語り手 岩本友子 オカリナ 石川美枝子

『心がほんわかあたたまる一人語りとおカリナのひびき 星の家を支援する2コインチャリティー』が今年6月17日(土)14:00から宇都宮市東コミュニティセンターホールにて「心を豊かにする一人語りの会」と「宇都宮市民活動サポートセンター」の共催で開催された。



語り手の岩本友子さん



オカリナの石川美枝子さん

岩本友子さんが昔話などを語り、石川美枝子さんがオカリナを演奏された。皆さん真剣に聞き入り、“一人語りの『動』と、オカリナの『静』のバランスが良くて、とても面白かった。”との声も。

来場者数は約160名にも達し、入場料は無料でしたが、お気持ちとしてツーコイン(二個の硬貨、中にはお礼も)を募金箱に入れてくださいました。このお金は「星の家」に寄付されました。

ここに岩本友子さん、石川美枝子さん、ご来場の皆様方に厚くお礼申し上げます。

第9回「星の家」まつり報告

去る10月22日曜日、好天に恵まれた中で星の家まつりは、盛大に開かれ無事に終了しました。



結果、前年比50%強アップの過去最高収益を得ることが出来ました。ここにご支援ご協力をいただ

きました皆様に対しましてお礼申し上げます。
なお、まつりのエピソードなどの出来事などを取りまとめた「星の家まつりたより」を同封しましたのでご覧ください。

(星の家まつり決算報告)
純収益 1,557,793円
(前回 1,014,583円)

収入 1,857,148円
支出 299,355円

ご協力に感謝し重ねて厚くお礼申し上げます。

第5回街頭募金報告

去る11月19日の日曜日、小雨模様、気温8と真冬並みの寒さの中、総勢15名の少数精鋭のボランティアの方々の応援を得て、オリオン通りの3箇所で行いました。

悪天候の影響?か思っていたより人通りが少な



く、また歩いている年代も若年層が多く、手ごたえはイマイチでしたが、真剣に耳を傾けた方がいたのが救いでした。

(街頭募金結果報告)
街頭募金額 30,009円
+1万円相当の餃子ギフト券

+当日ボランティアがお持ちくださった募金 8,826円
ご協力に感謝し厚くお礼申し上げます。

認定特定非営利活動法人としての再々認定を受けました!

課法11-230 平成18年11月20日付けで引き続き国税庁長官より「認定特定非営利活動法人として認定する旨の通知書(通知)」を受けましたのでお知らせします。

(認定有効期間)

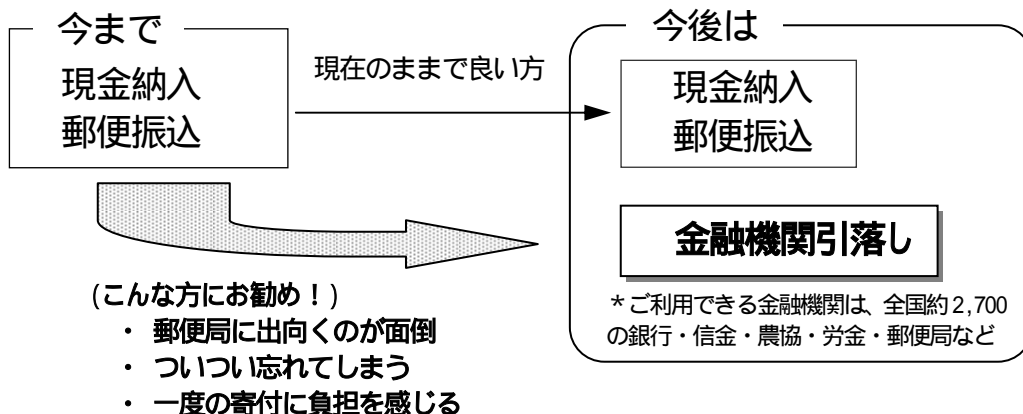
自 平成18年12月1日
至 平成20年11月30日

スタッフの給与支払いに“赤信号”が!...会費納入のお願い!

当会収入に大きなウエイトを占める補助金等の支払いが年度末(3月末)のため、12月以降の資金繰りがピンチ!!! スタッフの給与支払いが危うい状況にあります。
是非とも、早めの会費納入にご協力のほどお願い申し上げます。

会費等の金融機関引落しをご利用できます!

本会では、会員皆様方の会費納入の利便性を考慮して“会費等の金融機関引落し”を本年度6月から導入、従来からの郵便振込に加えて複数の納入方法を選択できるようになりました。現在の網渡り的な資金繰りの改善にもつながりますので、是非ともご利用ください。



青少年の自立を支える会第10回記念コンサートのお知らせ！



日時 2007年1月20日(土曜日)開演PM5時
場所 宇都宮市文化会館大ホール



今回の出演者は、10回目を記念して今までに出演した方々の倉沢大樹さん(エレクトーン)、島田絵里さん(フルート)、浅香薫子さん(声楽)、ネイザン・イングラム&ワールド・ソウル・コーラスグループ(ゴスペル&ソウル)の豪華メンバーです！！



特売チケット好評発売中！！(全席自由1,000円)



コンサートプログラムへの広告掲載募集中！！

当日ボランティアも募集中！

寄付・会費納入者 敬称略・順位不同

平成18年9月~18年11月まで

(個人情報保護の観点から、ウェブ版では個人名は割愛させていただきます)

倉庫を探しています！

長期間借りられる広さ16畳程度の倉庫を探しています。「星の家」まつりのバザー用品やアパートで一人暮らしをする「星の家」の同居者たちの支度品を保管するために利用します。

(編集後記)

アツという間に1年が過ぎ去りとうとう師走！
今号は、年明け早々のコンサートをお知らせするためひと月早めて12月に発行しました。

ところで、テレビでは連日のように児童虐待のニュース、なぜ起きる！？

そこで先日のテレビでのこと。日本人と結婚し日本で暮らすキューバ出身のお嫁さんの子育て。近所を散歩中の乳母車に乗った赤ちゃんがアイスクリームを食べている。お母さんが近所の人にアイスクリームを分けるように促すと、赤ちゃんが近所の人にアイスクリームを差し出す。近所の方は少し食べて(食べたふり?)赤ちゃんに笑顔でありがとうとほめてあげると、赤ちゃんが満面の笑顔で返す！

幼児のときから“物を分かち合う習慣”を教え込む。お嫁さんは、私も両親からそのように育てられたし、キューバでは当たり前の子育て方だと・・・判りませんがキューバでは虐待は少ないのではと！？

本年中は何かとご支援、ご協力を頂きありがとうございました。来年もよろしく願い申し上げます。

m(_ _)m!! (多門)

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会
発行日/ 2006年12月10日
発行責任者/ 伊達悦子
編集責任者/ 福田雅章

所在地/ 321-0963 栃木県宇都宮市南大通り 4-2-18
電話/ 028-651-0161 FAX/ 028-651-0162
IP 電話/ 050-3437-2401
Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp
HP/ <http://www2.ucatv.ne.jp/~sasaeru.snow/>